

奨学生交流会・学びのフェス2026夏

【学生生活をどう過ごす？】

奨学生活動レポート

2026年8月14日発行

CTC未来財団

〒105-6909 東京都港区虎ノ門4-1-1
神谷町トラストタワー9階
office@mirai-zaidan.or.jp
TEL:03-6450-1540



8月1日（土）に開催した「2026年度第1回奨学生交流会」と8月4日（火）に出展した「学びのフェス2026夏」の活動レポートをお届けします。

■奨学生交流会 8月1日（土）12:00～17:30 神谷町トラストタワー16階

2026年度第1回の交流会に44名の奨学生と6名の卒業生、計50名が参加しました。プログラムは4部構成です。「より多くの学生と交流したい」という奨学生の声に応え、12:00の昼食会からスタートし、途中2度の席替えを挟みながら17:30過ぎに閉会しました。第3部、第4部のご講演は、当財団設立会社の伊藤忠テクノソリューションズ株式会社（略称：CTC）から人事や科学分野でご活躍されている社員の皆さまをお招きし、「現場のリアル」をお話しいただきました。

交流会プログラム

- 第1部 財団紹介
- 第2部 奨学生・卒業生の自己紹介
- 第3部 講演「採用担当者が見た、大学生活で本当に差がつく人の共通点」
- 第4部 講演「シミュレーションが多様なニーズに応えるさまざまな分野への活用事例」



ランチタイム



第1部 清水代表理事挨拶

第3部 CTC/人材戦略部ご講演 「採用担当者が見た、大学生活で本当に差がつく人の共通点」

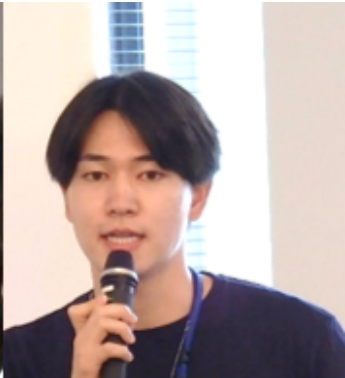
CTC人材戦略部 新卒採用課の井本麻衣子さん、高津佑輔さんが数多くの学生との面接経験をもとに、生成AI時代に求められる人材をテーマにお話ししました。成長する人に共通する行動として紹介したのは「挑戦・失敗・協働・振り返り」の4つ。経験を次の成長につなげることの大切さを訴えました。講演を受けてグループワーク「経験深掘りワーク」を実施。自身の挑戦や失敗、そのときの考えや行動、周囲との関わりを振り返り、グループで互いに質問しながら経験を深掘りしました。「自分では気づかなかった考え方や強みを知る機会になった」と好評でした。最後に、生成AIを「問いかけてくれる相棒」として活用する「AI×5分スマート内省術」について井本さんが紹介。これからの大学生活で自身の成長につなげるヒントを得る時間となりました。



第2部
自己紹介の様子



第3部 井本麻衣子さん



高津佑輔さん

第4部 CTC/科学システム本部ご講演 「シミュレーションが多様なニーズに応 えるさまざまな分野への活用事例」

第4部では、CTC科学システム本部の皆さんが、さまざまな社会課題の解決に活用されている「シミュレーション技術」について、実際の事例を交えて紹介しました。

取り上げたのは、津波・衝撃・風力発電・材料開発の4つの分野です。津波が沿岸に到達するまでの動きや被害を予測する「津波評価」、竜巻による飛来物や衝突・爆発などから人や施設を守る「衝撃解析」、風の状況や発電量を予測して再生可能エネルギーを支える「風力発電」、さらに、金属などの性質や変化を計算し、新しい材料の開発につなげる「材料開発」など、多彩な活用事例を示しました。また、AIや機械学習、データ活用など幅広い技術が組み合わされていることを紹介し、「普段は目にする機会の少ない技術かもしれませんが、災害への備えや安全・安心な社会づくり、再生可能エネルギー、新しいものづくりなど、私たちの暮らしのさまざまな場面でシミュレーションが支えています」と学生達に伝えました。

ITや科学技術が社会の課題解決につながっていることを実感できる講演となりました。

第4部
馬淵倉一さん



永井香織さん
牛上直斗さん



瀬川正仁さん
松澤遼さん



【VOICE～奨学生の声～】

- ・第3部：就職活動だけでなく、今後の大学生活の質を高めるために非常に有用な情報であると感じました。
AIを用いて1日を振り返る方法を教えていただき、自分をもっと成長させることができたと確信できました。
- ・第4部：シミュレーション技術を担っている当事者の方から、現場の生の話が聞けて非常に良かったです。
興味のある分野の仕事の話だったので、とてもためになりました。



講演時の様子

■学びのフェス2026夏 8月4日（火）実践女子大学渋谷キャンパス

8月4日（火）毎日新聞社主催「学びのフェス2026夏」にプログラミングワークショップを出展。当財団の奨学生3名がボランティアとして活動に参加し、小学1・2年生のプログラミングの挑戦をサポートしました。

3人の奨学生は、お子さんのサポート役に加え、ワークショップの司会進行にも挑戦。どうしたら小学1・2年生にわかりやすく伝えることができるのかを3人で話し合い、本番に臨みました。

参加したお子さんから「わかりやすくて楽しかった！」の声が寄せられ、奨学生は「励みになりました」と話していました。

ワークショップには29組の親子が参加。「ぼくは2回目の参加だよ！」「またやりたい！」という声が聞かれました。



ワークショップの様子



奨学生ボランティア

高塚さん 多田さん 浅島さん

子ども達の頑張りに
刺激をもらっています！

【事務局より】

CTC未来財団では、これからも奨学生の学びや交流、さまざまな挑戦の機会を創出し、未来を担う次世代の成長を応援してまいります。